

会記

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 植物地理・分類学会, The Society for the Study of Phytogeography and Taxonomy, メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00053588

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



会 記

2014年度会計報告 (2014年4月1日～2015年3月31日)

○植物地理・分類学会

収入 (A)	1,329,755円	支出 (B)	1,906,833円
会費	1,246,597	雑誌印刷費 (61-2, 62-1)	1,277,800
バックナンバー売上	10,500	雑誌送料 (61-2, 62-1)	101,710
利息	238	通信費	18,364
雑収入	3,420	英文校閲費 (2013・2014)	100,000
総会参加費等	69,000	編集補助費	0
		庶務事務費	140,771 (内訳)
		アルバイト (発送作業等)	28,000
		文具等	15,425
		封筒印刷費	32,400
		雑誌封入発送代行	31,400
		雑支出	33,546
		ニュースレター送料	78,310
		会議旅費	68,000
		自然史学会連合負担金	20,000
		総会関係	79,700 (内訳)
		運営費	62,300
		懇親会補助	5,400
		会場アルバイト	12,000
		会員名簿作成	22,178 (内訳)
		印刷費	14,178
		事務費	8,000

差引 (A - B) △ 577,078 円

次年度への繰越金 (前年度繰越金 1,487,171 + △ 577,078) 910,093 円

○植物地理・分類学会後援会

収入 (A)	30,000円	支出 (B)	179,675円
醸金	30,000	選考会議費	67,000
前年度繰越金	849,087	授賞金	100,000
		受賞者旅費	12,000
		大会用消耗品	675

差引 (A - B) △ 149,675 円 (次年度への繰越金)

次年度への繰越金 (前年度繰越金 849,087 + △ 149,675) 699,412 円

新入会員 (2014年9月～2015年3月)

12月 9日	伊東 拓朗	〒305-0005	茨城県つくば市天久保4-1-1	国立科学博物館植物研究部
12月 16日	大宮 徹	〒930-1362	富山県中新川郡立山町吉峰3	富山県農林水産総合技術センター 森林研究所

退会会員 (2014年9月～2015年3月)

大野 啓一 〒115-0041 東京都北区岩淵町38-22
 清水 健美 〒390-0312 松本市岡田松岡211-3 (死去)
 中西こずえ 〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科
 中村 功 〒806-0023 福岡県北九州市八幡西区八千代町1-24
 指田 豊 〒192-0371 東京都八王子市南陽台3-20-7

住所・氏名変更及び訂正 (2014年9月～2015年3月)

池上 宙志 〒420-0047 静岡県静岡市葵区清閑町13-12 (株)環境アセスメントセンター 企画部調査企画 → 〒453-0044 愛知県名古屋市中村区鳥居通4-16 第二鳥居ビル2階 (株)環境アセスメントセンター 東海営業所

植物地理・分類学会2016年度大会のお知らせ

植物地理・分類学会2016年度大会は6月4日、5日に新潟県上越市において開催します。詳細が決定いたしましたら、参加申し込み等のご案内を学会ニュースでお知らせいたします。

1. 会場 (予定)

直江津学びの交流館 (新潟県上越市中央一丁目3-18)

2. 日程 (予定)

6月4日 (土) 午後: 総会, 学会賞授賞式, 受賞記念講演会, 一般講演, 懇親会

6月5日 (日) エクスカーション: 柿崎海岸, 頸城湖沼群

植物地理・分類学会2015年度大会

植物地理・分類学会2015年度大会は5月30日 (土)～6月2日 (火)に島根県において、ホシザキ野生生物研究所の三浦憲人氏にお世話いただき開催された。初日は出雲市のホシザキ野生生物研究所研修室を会場として、総会, 学会賞授賞式, 受賞記念講演, 一般講演を行った。二日目の午前中に島根半島の桂島でのエクスカーション, そして二日目午後から隠岐の島へのオプションツアーを二泊三日で特別企画として実施した。

会場を提供いただいたホシザキ野生生物研究所は、出雲市郊外の緑と水に囲まれた宍道湖西岸にあり、島根県の野生動植物を調査研究している施設で、宍道湖が一望できる併設の野鳥観察舎は一般に公開されおり、地域の自然に関する資料もわかりやすく展示されていた。

まず、総会が午後1時より開会され、綿野泰行会長から挨拶があった後、議長に大塚孝一氏を選出し、議事に入った。最初に、2014年度活動報告として、庶務幹事から以下の事項について報告があった。

- ・会員状況 (2014年度末): 個人493名 (うち学生29名, 特別7名), 21団体
 * 2013年度末: 個人542名 (うち学生31名, 特別11名), 21団体
- ・大会開催: 2014年5月31日, 富山県中央植物園 (富山市婦中町上轡田42)
- ・エクスカーション実施: 2014年6月1日, 富山市有峰
- ・学会賞表彰: 2014年度学会賞授与 (学会賞: 佐藤卓氏, 奨励賞: 谷友和氏)
 2015年度学会賞選考 (応募締切2014年10月31日)
 選考委員 (加藤 (委員長), 古池, 御影, 永益, 山田)
- ・会誌発行: 植物地理・分類研究 vol.61.no.2, vol.62.no.1

- ・総会開催：2014年5月31日，富山県中央植物園
- ・評議員会開催：同上
- ・幹事会開催：2014年4月4日（金沢勤労者プラザ），5月31日（富山県中央植物園）
*学会運営に関わる協議はメールにより随時実施

・その他：会員名簿発行，学会将来構想検討委員会を設置

続いて，会計幹事から2014年度会計報告（本誌別ページ掲載）が配布資料に基づいて行われ，監査員の高木政喜氏より監査報告があった。参加者の拍手により活動報告と会計報告は承認された。次に，2015年度の活動計画が庶務幹事から，予算案が会計幹事から提案され，拍手により賛成多数で承認された。

次に，会長から，2016年度の大会開催地について，五百川庶務幹事の世話により，新潟県上越市において開催したいとの提案があり，拍手で承認された。

さらに，会長より，2016年度から2017年度の役員について以下のように提案があり，拍手により承認された。

会長：綿野泰行；庶務幹事：寺田和雄；会計幹事：中野真理子；

幹事：高橋一臣，谷友和，西沢徹；編集委員長：山田敏弘；

監査員：本多郁夫，高木政喜；

評議員：岩坪美兼，大塚孝一，加藤雅啓，古池博，御影雅幸，五百川裕

以上をもって，総会を閉会した。

午後2時から，2015年度の学会賞授賞式が行われ，加藤雅啓選考委員長より，学会賞を田中昭彦氏に授与することが，氏の業績を紹介し報告された（本誌別ページ参照）。続いて，会長より賞状と副賞の贈呈があり，その後，田中氏の受賞記念講演「鳥取県の希少な野生植物」を拝聴した。エゾノミズタマソウ，クロイチゴ，オオメシダについて，鳥取県で生育が確認された経緯と，それぞれの特徴について丁寧に解説いただいた。関連の質問にも丁寧に回答いただき，氏が鳥取県において植物調査を進める人材の養成に貢献されてきたことが伝わる，魅力的で丁寧な講演であった。

続いて，午後3時15分から一般講演が行われた。永益英敏氏に座長を務めていただいて，各講演に対して活発な質疑が交わされた。演者と演題は以下の通りである。

1. 井上雅仁（鳥根県立三瓶自然館）：鳥根県の植物研究について
2. 寺田和雄（福井県立恐竜博物館）：鳥根県新第三系の珪化木群集について
3. 池嶋美佳・木下栄一郎（金沢大・植物園）：日本産セリ科植物の生活史の比較
4. 石井省伍・綿野泰行（千葉大・院・理）：タンポポの“雄核単為生殖雑種”と呼ばれているクローンの起源について
5. 山田曉仁（金沢大・理工・自然）・藤浪理恵子・今市涼子（日本女子大・理）・山田敏弘（金沢大・理工・自然）：日本産ヒカゲノカズラ（*Lycopodium clavatum* L.）における隠蔽種

一般講演終了後，一畑電車雲州平田駅近くの「味処さかもと」へと会場を移し，午後6時頃より懇親会が開催された。一人ずつお膳が並ぶ和室会場で，出雲の美味しい料理を堪能しながら隣同士で歓談し，やがて，各所で車座ができ，地域の植物の情報交換などに話の花が咲き，いつの間にか予定の2時間が過ぎ，閉会となった。

（庶務幹事 五百川裕）

2015年度植物地理・分類学会賞受賞者の選考について

2015年度植物地理・分類学会の受賞者は、学会賞選考委員会による厳正な選考の結果、下記のように決定いたしました。

植物地理・分類学会賞

受賞者 田中 昭彦

田中昭彦氏は鳥取県の中学校教諭として務めながら、県内の維管束植物や珪藻類などについて調査研究を精力的に行い、地域の植物相の解明に大きく貢献した。特に、シダ植物についての研究成果は顕著であり、新種として発表されたタナカイヌワラビの収集、南方系のシマイヌワラビの県内新記録など特筆される。その他、新種サンインヒエスゲの発表、また、「鳥取県シダ植物誌1」、「鳥取県のすぐれた自然 植物編」、「レッドデータブックとっとり 植物編」を著者、分担執筆者として発表されている。さらに、長年におよぶ調査研究で収集した植物標本（鳥取県産を中心に約5万点）を鳥取県立博物館に寄贈され、鳥取県、および山陰の植物の自然史を解明する上で貴重なコレクションとして、研究者や地元の人々に利用されている。また、鳥取県立博物館の植物同定講師、氷ノ山自然観察会指導員などとして、県内の多くの場所で植物観察の指導にあたり、植物分類学の教育・普及に活躍されている。

以上のように、田中氏の業績は、植物地理学および植物分類学の分野において学術的見地からまことに顕著であると共に、本学会の発展に大きく貢献されており、植物地理・分類学会賞を授賞するのにふさわしいと評価した。

田中氏が、今後とも一層研究に邁進されることを期待すると同時に、本学会においても活躍されることを願ってやまない。

2015年1月12日
植物地理・分類学会賞選考委員会

2016年度植物地理・分類学会賞応募要領

植物地理・分類学会は、植物地理学と植物分類学の振興と育成のため、植物地理・分類学会賞および植物地理・分類学会奨励賞の2つの学会賞を設け、以下のように公募する。

植物地理・分類学会賞

応募資格

受賞の年度までに5年以上、植物地理・分類学会員であること。

受賞の対象となる業績内容の例：

- ・地域植物相の解明に貢献
- ・モノグラフの研究に貢献
- ・分類群の系統解明に貢献
- ・地域の植物研究グループの中心としての教育的な貢献

応募方法

自薦または他薦による候補者の推薦

提出書類

- (1) 履歴書（研究歴を明瞭に記載したもの）1部、あるいはこれまでの研究歴についてかかれた書類1部（学校、研究所、博物館等に所属していない人に限る）
- (2) 業績リスト1部
- (3) 主要論文の別刷りをそれぞれ3部、著書があれば1部
- (4) 推薦理由書
- (5) 業績内容を紹介できる人（1名）の連絡先を記した書類

応募期限

2015年10月31日

応募先（必ず書留便で郵送してください）

〒953-8512 上越市山屋敷町1番地 上越教育大学学校教育学系内
植物地理・分類学会 庶務幹事 五百川 裕

植物地理・分類学会奨励賞

応募資格

- ・優れた萌芽的研究を行い、今後の発展が期待できる植物地理・分類学会員
- ・ファーストオーサーとして植物地理・分類研究に論文を発表している者
- ・応募時に満39歳以下の者

応募方法

自薦または他薦による候補者の推薦

提出書類

- (1) 履歴書（研究歴を明瞭に記載したもの）1部
- (2) 業績リスト1部
- (3) 主要論文の別刷りをそれぞれ3部、著書があれば1部
- (4) 推薦理由書
- (5) 業績内容を紹介できる人（1名）の連絡先を記した書類

応募期限

2015年10月31日

応募先（必ず書留便で郵送してください）

〒953-8512 上越市山屋敷町1番地 上越教育大学学校教育学系内
植物地理・分類学会 庶務幹事 五百川 裕

植物地理・分類学会 会則

- 第1条 本会は、植物地理・分類学会と称する。
- 第2条 本会は、植物系統分類学、植物地理学、植物生態学および植物自然史関連分野の進歩普及を図り、あわせて会員相互の連絡および親睦を図ることを目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 研究会、講演会、シンポジウム、観察会等を開催する。
 2. 会誌その他の出版物を刊行する。会誌「植物地理・分類研究」は原則として年2回発行する。
 3. 植物系統分類学、植物地理学、植物生態学および植物自然史関連分野に関係した調査、研究の業績、または教育的な貢献が著しい会員を表彰する。
- 第4条 本会の事業年度は4月1日に始まり3月31日に終わる。
- 第5条 会員は普通会員、学生会員、団体会員、賛助会員および特別会員とする。
1. 普通会員、学生会員、団体会員および賛助会員は、本会の趣旨に賛同し、それぞれ所定の会費を納める個人または団体。
 2. 特別会員は、本会の発展に著しい功績のあった個人で、幹事会の議を経て会長が推薦し総会の承認を受けた者。特別会員は会費の納入を要しない。
- 第6条 普通会員、学生会員、団体会員および賛助会員は、会費を前納（前年度の3月末日まで）しなければならない。なお、納入された会費は返付しない。
- 第7条 会員は、会誌の配布を受け、あわせて会誌に投稿すること、ニュースレターの配布を受けること、本会主催の諸会合に出席することができる。
- 第8条 新しく会員になろうとするものは、当年度の会費を添えて本会事務局に申し込むこと。退会する場合は本会事務局に届け出なければならない。会費に滞納があるときは、未納分を納めなければならない。
- 第9条 会員が次の各項に該当するときは、幹事会の議決を経て次の措置をとることができる。
1. 本会の名誉を著しく傷つけ、または本会の目的に反する行為のあったときは、除名する。
 2. 会費を2年間滞納したときは、除籍する。
- 第10条 本会の最高決定機関として総会を置く。総会は毎年1回開催する。総会での議決は出席者の過半数の賛成を以て行う。ただし会則の改正には出席者の2/3以上の賛成を要する。
- 第11条 本会に幹事会を置く。幹事会は本会の運営を行う。幹事は会長、庶務幹事、会計幹事、編集委員長各1名、およびその他若干名とし、総会において選出する。これらの役員の任期は2年とする。
- 第12条 本会に編集委員会を置く。編集委員会は編集委員長、主任編集委員および編集委員で構成し、編集委員長がこれを代表する。主任編集委員1名、編集委員は若干名とし、編集委員長が幹事会にはかって委嘱する。委員の任期は2年とする。
- 第13条 本会に評議員会を置く。評議員会は会長の諮問に応じ、会務の重要事項を審議する。評議員会は総会において選出された評議員若干名で構成し、任期は2年とする。
- 第14条 本会に監査員を2名置く。任期は2年とし、総会において選出する。
- 第15条 本会の会長は、必要に応じて、特定の事項を審議する委員会を設けることができる。
- 第16条 この会則についての細則は、総会の議決を経て、別に定める。
- 付則 1. この規約は1990年6月2日から施行する。
- 付則 2. 第12条の規定に関わらず会長は編集委員長を兼ねることができる。
- 付則 3. この規約は2001年6月2日から施行する。
- 付則 4. この規約は2002年6月1日から施行する。
- 付則 5. この規約は2005年6月4日から施行する。ただし2005年度は、第4条の規定に関わらず事業年度は2005年1月1日から2006年3月31日とする。
- 付則 6. この規約は2013年6月1日から施行する。

植物地理・分類学会からのご案内

1. 入会方法

- 1) 本学会に入会を希望される方は、①氏名(フリガナ、英語表記)、②生年月日、③連絡先(郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、④入会希望年度、⑤キーワード5語以内(研究課題、興味ある分類群・地域など)を記載し、郵便、FAX、または電子メールで下記まで送付ください。なお、学生の方は、所属の欄にその旨を記載いただき、学生であることを証明するもの(学生証の写し、または指導教員記載の証明書)を入会申込書に添えてください。学会ホームページ(<http://raicho.sci.u-toyama.ac.jp/~phytogeotaxo/>)の入会案内から申込書をダウンロードして記入いただいても構いません。

申込先：会計幹事 中野真理子

(〒920-1147 金沢市銚子町441番地 石川県立自然史資料館)

TEL 076-229-3450(代表) / FAX 076-229-3460 / E-mail : nakano@muse-ishikawa.or.jp

- 2) 同時かまたは数日以内に、個人会員の場合は、年会費4000円(学生会員1000円)、団体会員は6000円を、郵便振替口座 00760-0-904 番、植物地理・分類学会宛に振り込んでください。

2. 雑誌の購読、バックナンバー、当会発行書籍に関するお問い合わせ

会計幹事 中野真理子

(〒920-1147 石川県金沢市銚子町441番地 石川県立自然史資料館)

TEL 076-229-3450(代表) / FAX 076-229-3460 / E-mail : nakano@muse-ishikawa.or.jp

3. 住所変更など会員の異動に関するご連絡

会計幹事 中野真理子

(〒920-1147 石川県金沢市銚子町441番地 石川県立自然史資料館)

TEL 076-229-3450(代表) / FAX 076-229-3460 / E-mail : nakano@muse-ishikawa.or.jp

4. 引用許可申請に関するお問合せ

本会誌各巻2号に掲載の様式で「引用許可申請書」を作成し、許可を得てください。

申請書送付先：庶務幹事 五百川 裕

(〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学学校教育学系)

TEL & FAX 025-521-3430 / E-mail : iokawa@juen.ac.jp

5. 投稿に関するお問い合わせ

編集委員長 山田 敏弘

(〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工研究域自然システム学系)

TEL & FAX 076-264-6207 / E-mail : nymphaea@staff.kanazawa-u.ac.jp

6. その他のお問合せ

庶務幹事 五百川 裕

(〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学学校教育学系)

TEL & FAX 025-521-3430 / E-mail : iokawa@juen.ac.jp

転載許可申請書について

本会誌に掲載された図や写真等の他の印刷物での引用（使用）を希望する場合は、以下のような様式で「引用許可申請書」を作成し、学会の庶務幹事宛（〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学学校教育学系 植物地理・分類学会 庶務幹事 五百川裕）に郵送して、許可を得てください。用紙はA4を使用し、使用先の出版物等の内容は以下の様式の括弧内の事項を参考に、できるだけ詳しく記載してください。

.....

転載許可申請書

植物地理・分類学会 会長殿

年 月 日

貴学会発行の「植物地理・分類研究」に掲載の図表等を転載したく、その許可をお願いいたします。

申請者の住所

氏名 印

- 1) 使用する「植物地理・分類研究」の巻、頁、著者名、題目、図表の番号

- 2) 著者の許可の有無
(著者の許可が必要です。許可を得ていない場合は、その理由を記してください。例：連絡がつかない、著者死亡等)

- 3) 使用先の出版物等の内容
(雑誌、本、パンフレット等に使用する場合は、発行元、発行予定数、有料・無料の別等を書いてください。)

投稿規定

(2015年5月部分改定)

編集方針

「植物地理・分類研究」は、植物地理・分類学会機関誌として年1巻(2号)刊行される。本会誌は、総説、論文、ノートのほか、雑録(新刊紹介、追悼文、その他編集委員会が掲載を認めたもの)を掲載する。本文は日本語または英語を使用。

投稿資格

「植物地理・分類研究」に投稿する者は、原則として本会会員(共著の場合は1名以上の本会会員を含む)に限る。

原稿の受付

原稿は、投稿規定に従って書かれたものに限り受け付ける。

原稿の審査及び採否

投稿された原稿は、原則として2名の審査員が審査し、その意見のもとに、編集委員会が採否を決定する。なお、雑録については、編集委員会で体裁の確認は行うが、審査は行わない。

論文等の受理

原稿が編集委員会に届いた日をもって受付日(received)、編集委員会が掲載を可とし、編集委員長がそれを認めた日をもって受理日(accepted)とする。なお、掲載順は編集委員会において決定する。

著作権

本誌掲載の総説、論文、ノート、雑録の著作権は、植物地理・分類学会に帰属する。著者は、著作権を委譲する旨の書類を、最終原稿送付時に本学会に提出する。

論文等の長さ

論文は、刷り上がりで、図表を含み8頁までとする。ノートは4頁までとする。ただし超過頁の組版代(1頁につき6,000円)を著者で負担する場合には制限しない。

原稿の送付

- a 紙原稿の場合：本稿1部のほか、コピー2部、合計3部を提出する。その際、表・図は3部ともに鮮明なコピーを送ること(写真については、原図を写真に撮ったものか、または審査に使用し得る程度の鮮明な写真コピーとする)。表・図の原図は、掲載決定後の最終原稿とともに送付する。
- b 電子投稿の場合：以下のファイル形式で、電子メールに添付して下記編集委員会へ送付する。本文と図の説明には、頁番号および連続行番号をつけること。添付ファイルのサイズは5MB以下とし、超過する場合は分割して送付するか、ファイル転送サービスなどを利用する。なお、ファイル転送サービスを利用する場合は、事前にメールで連絡すること。

本文：ワード形式(doc, docx)またはPDF形式

図：JPEG形式、TIFF形式、またはPDF形式

表：エクセル形式(xls, xlsx)またはPDF形式

原稿の書き方

論文および総説は、①著者名と表題(和英両方)、②所属、住所、および連絡先メールアドレス(任意)、③Abstract(英文で250語以内)、④英語のキーワード(5個以内の語句でアルファベット順)、⑤本文、⑥引用文献の順序で構成するものとする。論文および総説は、英文の場合、さらに和文の摘要を付けること。また、論文および総説には、場合によりAppendixを付けることも可。ノート(雑録)は、英和両文で著者名と題名を付け、所属、住所、および連絡先メールアドレス(任意)を末尾に付ける。ノートが英文の場合、和文の摘要を付けることも可。雑録については、編集委員会で別途形式を定めることがある。著者が複数である場合、責任著者(corresponding author)の氏名と連絡先をアスタリスク(*)で明示する。本文中で使用する単位は、国際単位系(SI)に限る。

原稿の用紙

英文原稿は、A4判用紙に上下3cm程度、左右2.5cm程度あけ、ダブルスペースで25行を原稿の1頁とする。和文原稿の場合は、原則として日本語ワードプロセッサを使用し、A4判の用紙に周囲それぞれ3cm程度の余白を取ったうえで、30字×30行程度を原稿の1頁として作成する。

図と写真

図および写真は、そのまま印刷できるようにレイアウトする。紙媒体で作図する場合は、堅いA4判の台紙にはりつけること。図にはスケールを表示し、図の記号、数字には文字を貼り込むこと。図は原則として刷り上がりで15cm(頁幅)×19cm以内または7cm(半頁幅)×19cm以内(いずれも幅×高さ)であること。和文原稿の図表および写真の説明は、英文、和文、英文和文併記のいずれでもよい。図の説明文は、図中には入れ込まず、独立した原稿として用意すること。なお、図表は希望の挿入位置を原稿中に指示すること(著者による図表などの縮小率や位置の指定は、編集委員会において若干変更する場合がある)。当面、カラー写真は、1点(組写真でも可)に限り組版料無料。2点目からは実費負担(1点につき40,000円)。特殊な図表は、実費を著者で負担する場合に限り掲載する。

学名および標本庫の表示

学名は、最新の国際藻類・菌類・植物命名規約 [International Code of Nomenclature for algae, fungi, and plants (<http://www.iapt-taxon.org/nomen/main.php>)] に従い、属名および種と種以下の分類群の形容語のみをイタリックで表示する。なお、本文中では学名と遺伝子名以外はイタリックを使用しない。学名は初出時に命名者名を付ける。命名者名は、省略形を使用する場合、Brummit, R. K. and Powell, C. E. (eds). 1992. *Authors of Plant Names*. 732 pp. Royal Botanic Gardens, Kew または The International Plant Names Index のホームページ (<http://www.ipni.org/>) に従う。栽培植物の学名は、最新版の国際栽培植物命名規約 (ICNCP) に従う。標本庫の略語は Holmgren, P. K., Holmgren, N. H. and Barnett, C. B. (eds). 1990. *Index Herbariorum* 8 ed. 693 pp. New York Botanical Garden, New York または *Index Herbariorum* のホームページ (<http://sciweb.nybg.org/science2/IndexHerbariorum.asp>) に従う。

文献の引用

引用文献は、ウェブサイトを含め本文中に引用したすべてを記さなければならない。文献の配列順序はアルファベット順とし、1件ごとに改行する。すなわち、第1著者の異なるものはアルファベット順とし、姓が同じ場合は名のアルファベット順とする。第1著者が同一の場合には、単独のものを最初とし、そのあとは、第2著者の氏名のアルファベット順とする。第2著者も同一の場合には、第3著者以下について上記に準じる。著者が同一のものについては、発表の年代順とする。同一著者、同一年代のもは、年号のあとに小文字のアルファベットを付して、1999a, 1999b のように区別する。著者が3名以上で第1著者が同じである場合は、他の著者が異なっているときでも年号のあとにアルファベットを付して区別する。本文中での引用は、石川 (1999) もしくは (Toyama 1999) のように著者名と発表年を用いる。また、著者が2名の場合、石川・富山 (1999), (Ishikawa and Toyama 1999), 3名以上の場合、石川他 (1999), (Toyama et al. 1999) の形式を用いること。

- a 雑誌の場合: 著者名 (姓前名後とし、すべての著者名をあげる)、年号、論文表題、雑誌名、巻数 (太字): 頁とし、通し頁でない場合のみ巻数の次に丸括弧で号数をあげること。

(例)

石川太郎. 1989. 日本産イネ科の系統分類. 地理分類研究 25: 33-42.

Ishikawa, T. and Toyama, J. 1990. Two new species of *Poa* (Gramineae) from Japan. *J. Jpn. Bot.* 65: 4-12.

富山次郎. 1991. 富山県産イネ科目録. *イネ科研究レター* (52): 8-9.

- b 単行本の場合: 著者名 (a に同じ)、年号、表題、引用頁、発行所、発行地の順とする。なお発行地が複数の場合は一箇所のみとする。分担執筆や論文集、報告書等の場合、表題の後に編集者名、書籍表題を付け加えること。

(例)

福井三郎・新潟四郎. 1989. 日本海沿岸地域のエノコログサ属の生態. 日本海学会出版会 (編). 日本海学会報告書, pp. 24-31. 日本海大学, 新潟.

石川太郎. 1981. *イネ科の分類*. 富山書房, 東京.

石川太郎. 1984. *イネ科*. 富山次郎 (編), 日本植物誌 III, pp. 38-78. 石川出版, 金沢.

Ishikawa, T. 1985a. *Taxonomic study of Asiatic Gramineae*. Smith and Brown, New York.

Ishikawa, T. 1985b. *Morphology in Gramineae*. In: Willson H. B., Clemens, A. C. and Backer, I. P. (eds), *Gramineae in the world*, pp. 23-45. Academia, London.

- c ウェブサイトの場合: 掲載者名、確認した年、表題、URLを表示する。なお、引用文献を他言語表記

した場合, (in Japanese), (in Japanese with English summary), (in Russian), (in Chinese) 等を付記する。その他, 原稿の体裁については最近号をよく参照のこと。

最終原稿の送付

審査終了後の最終原稿のファイルは, それらを保存した電子媒体 (CD-R など) を郵送するか, 電子メール (5MB まで) で提出する。ファイル形式は, 「原稿の送付」の項に挙げた形式 (ただし PDF 形式は除く) とし, 写真の解像度は 300dpi 以上であること。図を紙媒体で提出する場合, 図の裏面には著者名と図番号, 天地, 縮小率を明記すること (写真は原寸大, 図は 67% 縮小程度が望ましい)。A4 判に納めることが不可能な植生表のような場合には, A4 に分割したコピーを添えること。なお, 電子媒体, 表, 原図は原則として返却しない。返却希望の場合には, 予めその旨を申し出るとともに, 宛先を記入した返送用封筒を, 最終原稿の送付時に必ず同封すること。

校正

原則として, 初校を著者が行い, 第 2 校以降は編集委員会の責任において行うものとする。また, 初校校正の結果は, PDF 閲覧ソフトの校正機能を利用して, 電子メール等で提出することを推奨する。活字は編集委員会が指定するが, 特に希望する箇所があれば, 初校校正時に指定すること。

校閲

英文 (Abstract も含む) については, 著者の責任で英語を母国語とする外国人の校閲を受けること。編集委員会の判断で英文校閲を実施した場合の実費は著者負担とする。

別刷

投稿者は, 初校の校正結果の提出時に別刷申込書も併せて送付すること。総説, 論文, ノートは, 50 部は無料, それ以上については実費を徴収する。植物目録など雑録に掲載された記事については, 別刷を提供できる場合があるので, 希望する場合は編集委員会に問い合わせること。投稿者 (共著の場合は責任著者) には論文の PDF ファイルを配布する。

原稿送付先および編集に関する連絡先

送稿や編集に関係した通信は〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工研究域自然システム学系 植物地理・分類研究編集委員会 編集委員長 山田敏弘 TEL & FAX: 076-264-6207 / E-mail: nymphaea@staff.kanazawa-u.ac.jp。投稿の場合, 紙原稿では封筒に「投稿原稿在中」と朱書き, 電子投稿では電子メールの表題を「植物地理・分類研究投稿」とすること。